



廃炉作業見学会に参加された皆さん
(コロナ感染予防対策のため 15 名の参加)

■バスの中からの車窓(大熊町)



数は減ったが、汚染された
土が、畑や田んぼだった所
にいまだに置かれている。

帰還困難区域は自宅がバ
リケード封鎖されている。

■東電廃炉資料館



東電の担当職員より、廃炉作業の進捗状況や構内に入る際の説明を受け、専用の移動バスで廃炉作業が進められている第一原発の構内に移動。

■第一原発の廃炉作業がすすむ構内の見学と説明



放射線量を測定する機器で測定をしながら、処理水(トリチウム)について説明を受けました。



水素爆発した1号機の外観と2号機の外観



地下水を汲み上げる設備と
地下水が施設外に流出しない
ように地面を凍らす設備



高性能多種核除去施設の外観

除去された処理水を保管する
貯蔵タンクの種類



■双葉町伝承館見学

世界初の甚大な複合災害の記録や教訓とそこから着実に復興する過程を収集・保存・研究し、風化させず後世に継承・発信し世界と共有することは、被災を経験した人々の共通の願いです。「東日本大震災・原子力災害伝承館」では、特に福島だけが経験した原子力災害をしっかりと伝えています。



■双葉町伝承館特別展示（福島民報写真展）

